

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP

# 防衛事業説明会

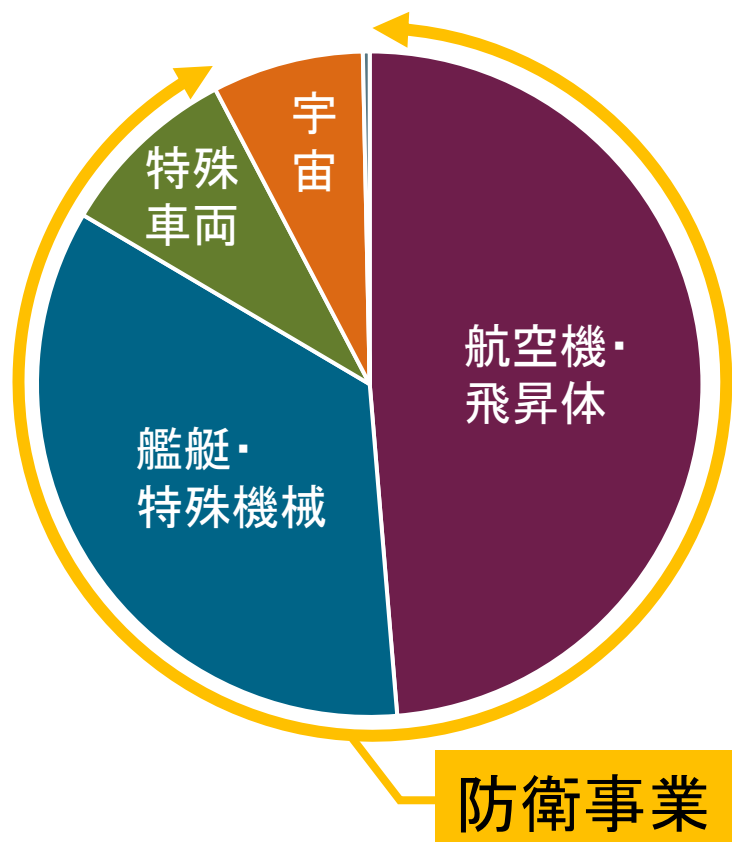
2023年 11月 22日  
三菱重工業株式会社 防衛・宇宙セグメント

1. 防衛事業概要
2. 日本の防衛力整備計画の拡充と取組みの方向
3. 主要事業の取組み
  - スタンドオフ防衛事業
  - 統合防空ミサイル防衛事業
  - 無人アセット防衛事業
  - 次期戦闘機事業
  - 防衛宇宙事業
4. 新たな防衛産業政策による影響
5. 事業計画

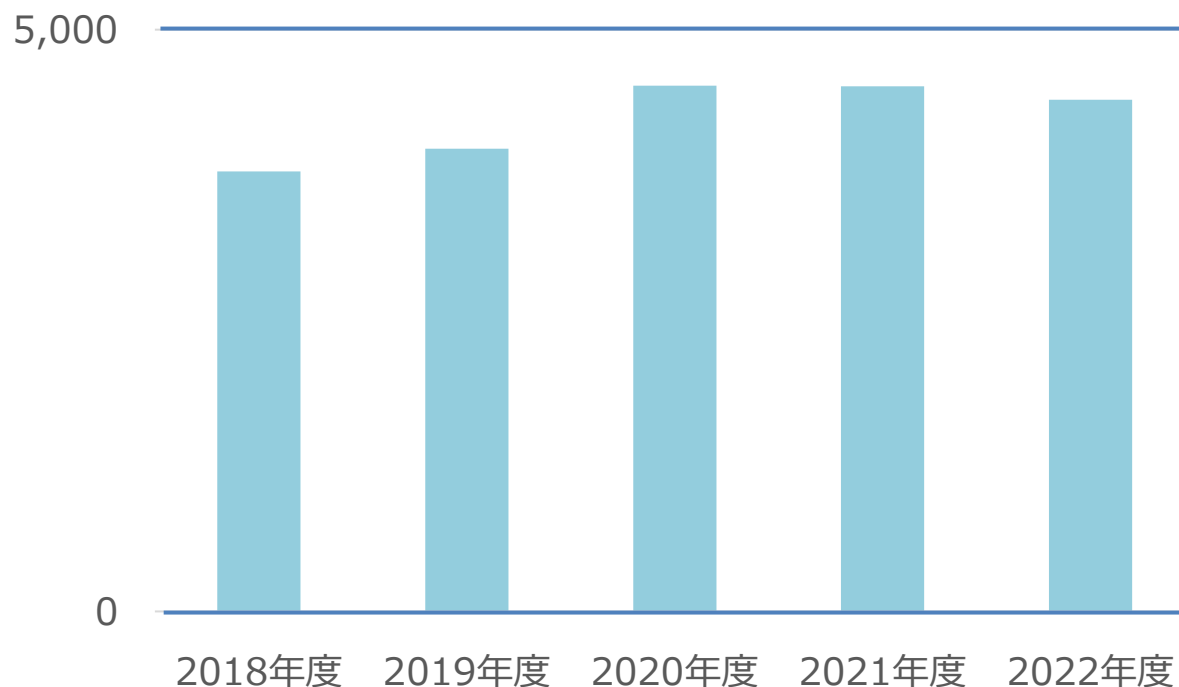
# 1. 防衛事業概要～事業規模

- 当社の防衛事業は、5,000億円弱の事業規模で推移

2022年度 防衛・宇宙セグメント  
売上高構成 4,749億円



防衛事業の売上高推移 (億円)



# 1. 防衛事業概要～組織・生産拠点

防衛・宇宙セグメント
企画管理部
先進システム事業推進部
航空機・飛昇体事業部(名古屋)
宇宙事業部(名古屋)
特殊車両事業部(相模原)
艦艇・特殊機械事業部(長崎・神戸・横浜・玉野)



**玉野**  
(三菱重エマタイムシステムズ)



**相模原**



**丸の内**  
(本社)



(艦艇の修理事業)

**横浜**

**長崎**



**神戸**



**名古屋**



# 1. 防衛事業概要～航空機・飛昇体事業の主要製品

## 戦闘機

F-15J 戦闘機



F-2 戦闘機



次期戦闘機



次期戦闘機イメージ（防衛省提供）

## ヘリコプタ

UH-60JA 多用途ヘリ



SH-60K 哨戒ヘリ



UH-60J 救難ヘリ



次期哨戒ヘリ



写真は開発中の機体

## ミサイル

PATRIOT



提供：ロッキード  
マーティン社

12式地対艦誘  
導弾(12SSM)



12SSM  
能力向上型



「令和5年度版防衛白書」  
(防衛省)をもとに当社作成

島嶼防衛用  
高速滑空弾



「我が国の防衛と予算 令和5  
年度予算の概要」(防衛省)

極超音速誘導弾



(同上)

## 新領域

レーザシステム



無人機



■ : 製品  
■ : 研究・開発中

# 1. 防衛事業概要～艦艇・特殊機械事業の主要製品

## 水上艦

護衛艦

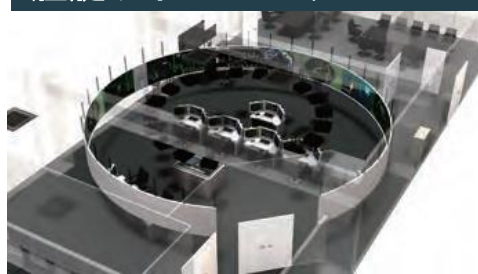


艦艇技術開発センター



## 後方支援

艦艇サポートセンター



技術補給支援センター



補助艦



官公庁船



## 魚雷・艦載機器

魚雷



垂直発射装置



## 潜水艦

潜水艦



潜水艦技術センター



水中無人機



- : 製品
- : 研究・開発中
- : 施設

# 1. 防衛事業概要～特殊車両事業の主要製品

## 装軌車両

10式戦車



11式装軌車回収車



提供: 防衛省

装軌共通車体  
／装甲車型



将来水陸両用技術



(イメージ図) 出典: 防衛装備庁HP

## 装輪車両

16式機動戦闘車



重装輪回収車(B)



写真は試作車両

12式地对艦誘導弾  
[車体部]



：製品

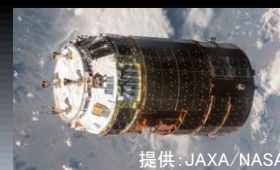
：研究・開発中

- 防衛・宇宙分野のトータルソリューションを提供し、安全保障、宇宙利用に貢献

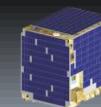
宇宙



ロケット



提供: JAXA/NASA



宇宙機器・衛星

空



戦闘機



ヘリコプタ



ミサイル

陸



戦闘車両

海



水上艦



潜水艦



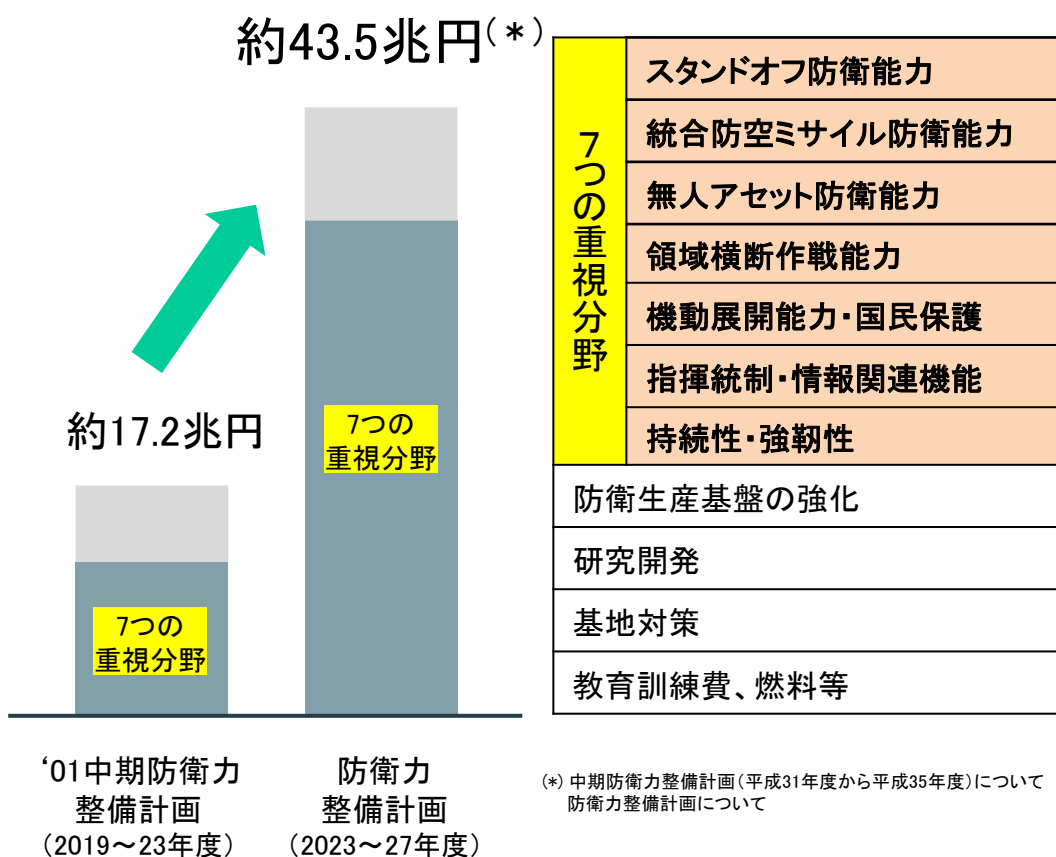
魚雷



## 2. 日本の防衛力整備計画の拡充と取組みの方向

- 国家安全保障強化の機運の高まりを受け、日本の防衛力整備計画が大幅に拡充
- 7つの重視分野について、陸・海・空・宇宙の総合力で対応していく

### 防衛力整備事業費と内容



(\*) 中期防衛力整備計画(平成31年度から平成35年度)について防衛力整備計画について

### 当社の取組み

#### スタンドオフ防衛能力

- ・12SSM能力向上等、次期戦闘機

#### 統合防空ミサイル防衛能力

- ・Patriot(MSEミサイル) 量産等

#### 無人アセット防衛能力

- ・陸海空無人機
- ・次期戦闘機連携

#### 領域横断作戦能力

- ・サイバー防衛
- ・防衛宇宙事業

#### 機動展開能力

- ・次期戦闘機、水陸両用車

#### 指揮統制機能

- ・スタンドオフ作戦計画

#### 持続性・強靱性

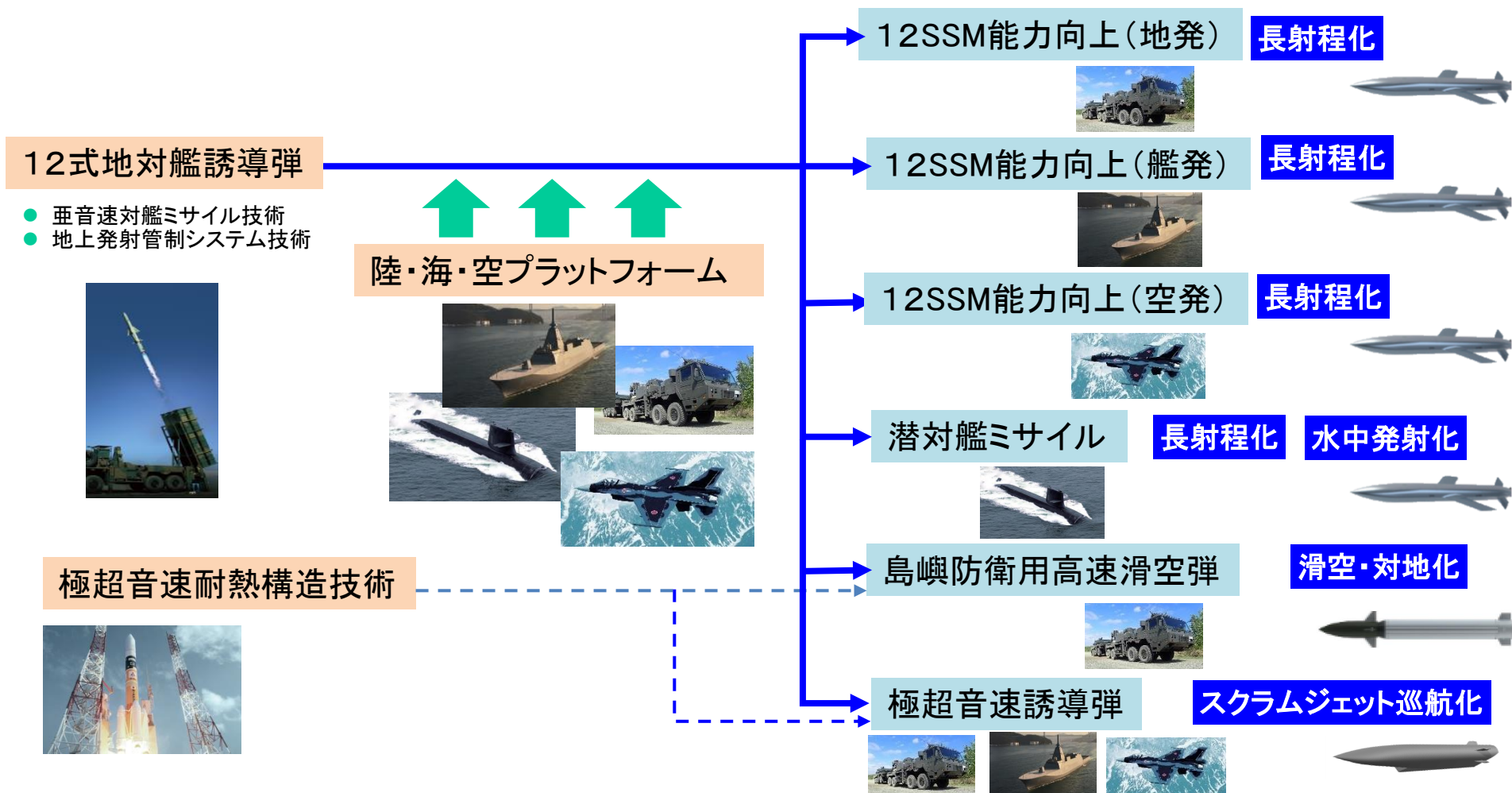
- ・装備品の可動率向上



- **スタンドオフ防衛事業**
- **統合防空ミサイル防衛事業**
- **無人アセット防衛能力事業**
- **次期戦闘機事業**
- **防衛宇宙事業**

# 3. 1 スタンドオフ防衛事業

- 当社の保有技術である12式地対艦誘導弾技術を核に当社の総合力で事業展開
- 亜音速ミサイルから、超音速・極超音速ミサイルへ発展。



## 3. 2 統合防空ミサイル防衛事業

- 日米共同開発などを通じた当社の統合防空ミサイル技術をさらに発展し事業展開
- 統合防空ミサイル防衛能力の向上に貢献

PATRIOTミサイル  
生産



提供: ロッキード  
マーティン社

PATRIOTミサイル生産  
(継続)



提供: ロッキードマーティン社

確実な量産継続

SM-3ミサイル  
日米共同開発・生産



(\*)

SM-3ミサイル  
日米共同生産(継続)



(\*)

確実な量産継続

イージス艦5隻建造



提供: 海上自衛隊

イージスシステム  
搭載艦の整備



(\*)

基本設計中

西太平洋ミサイル  
防衛構想研究(S63~H3)

滑空段階迎撃用誘導弾の  
日米共同開発



当社イメージ

日米で構想検討中

(\*)「令和5年度版 防衛白書」(防衛省)をもとに当社にて編集

### 3.3 無人アセット防衛事業

- 当社は、航空機、ミサイル、水中機器等の分野で「自動運転・制御技術」を蓄積。
- 防衛事業で増大する陸海空の無人機へのニーズに応えるため製品開発中。

#### 戦闘機の無人機化



#### 航空無人機



戦闘機連携無人機技術

長時間滞空技術

AI技術

#### ミサイル



#### 海洋無人機



水中偵察技術

水中無人機管制技術

#### 水中機器



#### 陸上無人機



陸上偵察技術

不整地での障害物回避技術

### 3. 4 次期戦闘機事業

- 当社が保有する戦闘機開発技術力、無人機技術力で事業展開
- これまでの豊富な経験を活かし日英伊3か国共同開発に貢献

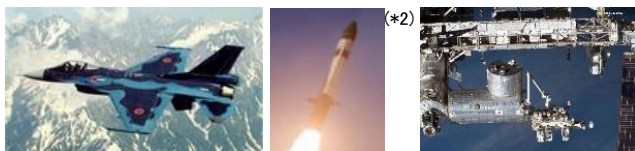
#### 戦闘機開発技術力



- T-2/F-1
- F-2
- X-2



#### 国際共同開発の経験



提供: JAXA/NASA

#### 連携する無人機技術力



#### 次期戦闘機事業

##### 特徴

- 第6世代戦闘機
- マルチロール
- ネットワーク戦闘力
- 無人機連携
- ステルス性



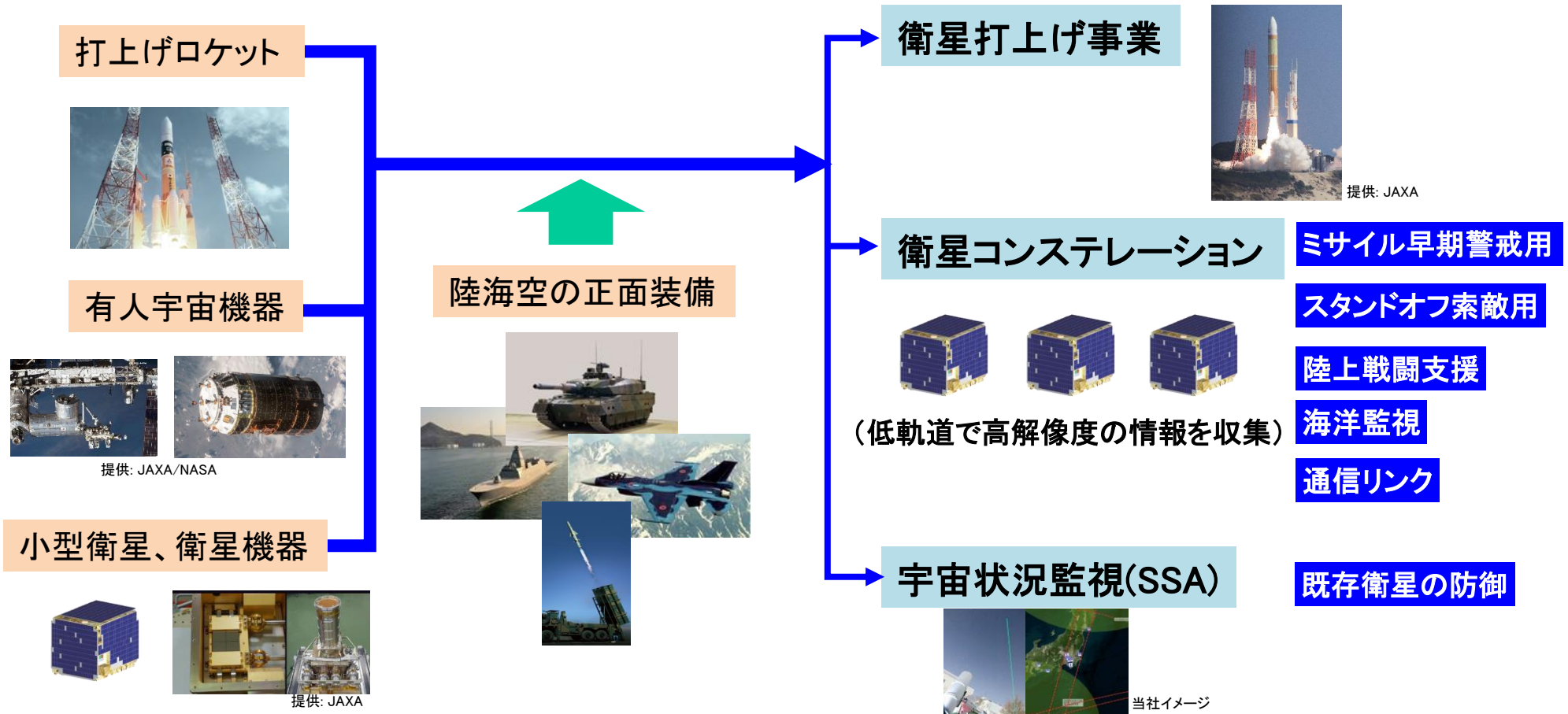
次期戦闘機イメージ (防衛省提供)

##### ステータス

- 日英伊で基本設計中
- 政府間でワークシェア協議中
- 開発本格化に備え、開発棟増設を計画中(小牧南)

(\*1)「我が国の防衛と予算 平成31年度予算の概要」(防衛省)  
 (\*2)「令和5年度版 防衛白書」(防衛省)をもとに当社にて編集

- 宇宙アセット(通信、航法、情報収集等)は、陸海空の装備品の運用に必須。
- 衛星打上げ、衛星コンステ構築、宇宙状況監視(SSA)等で貢献。

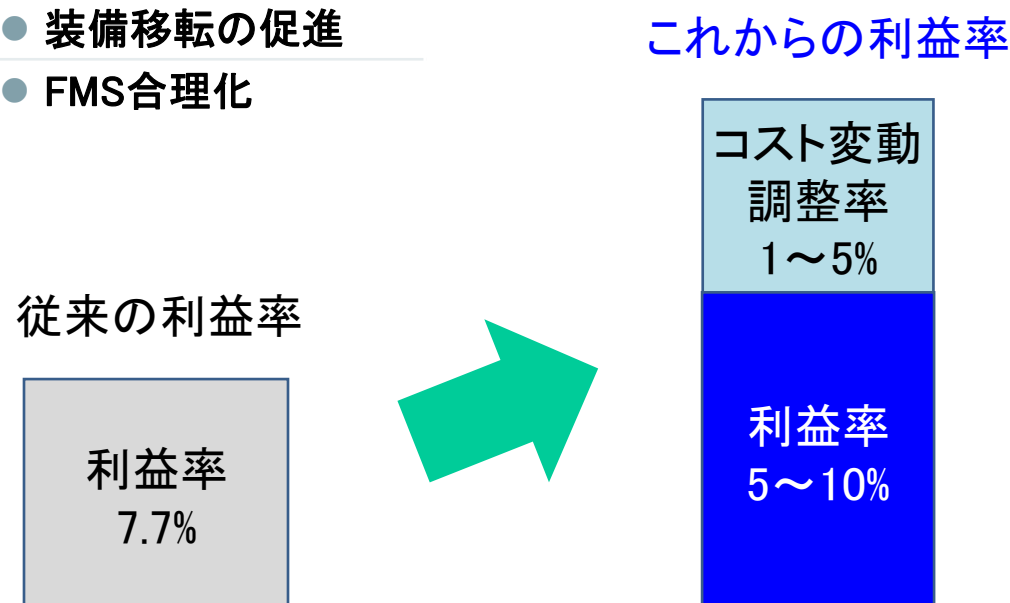


## 4. 新たな防衛産業政策による影響

- 防衛省は防衛生産・技術基盤の維持・強化を目的に新たな政策を打ち出し
- 利益率改善施策により、新たな投資が可能になり企業活動の継続的发展に期待

### 【 防衛省による新たな防衛産業政策 】

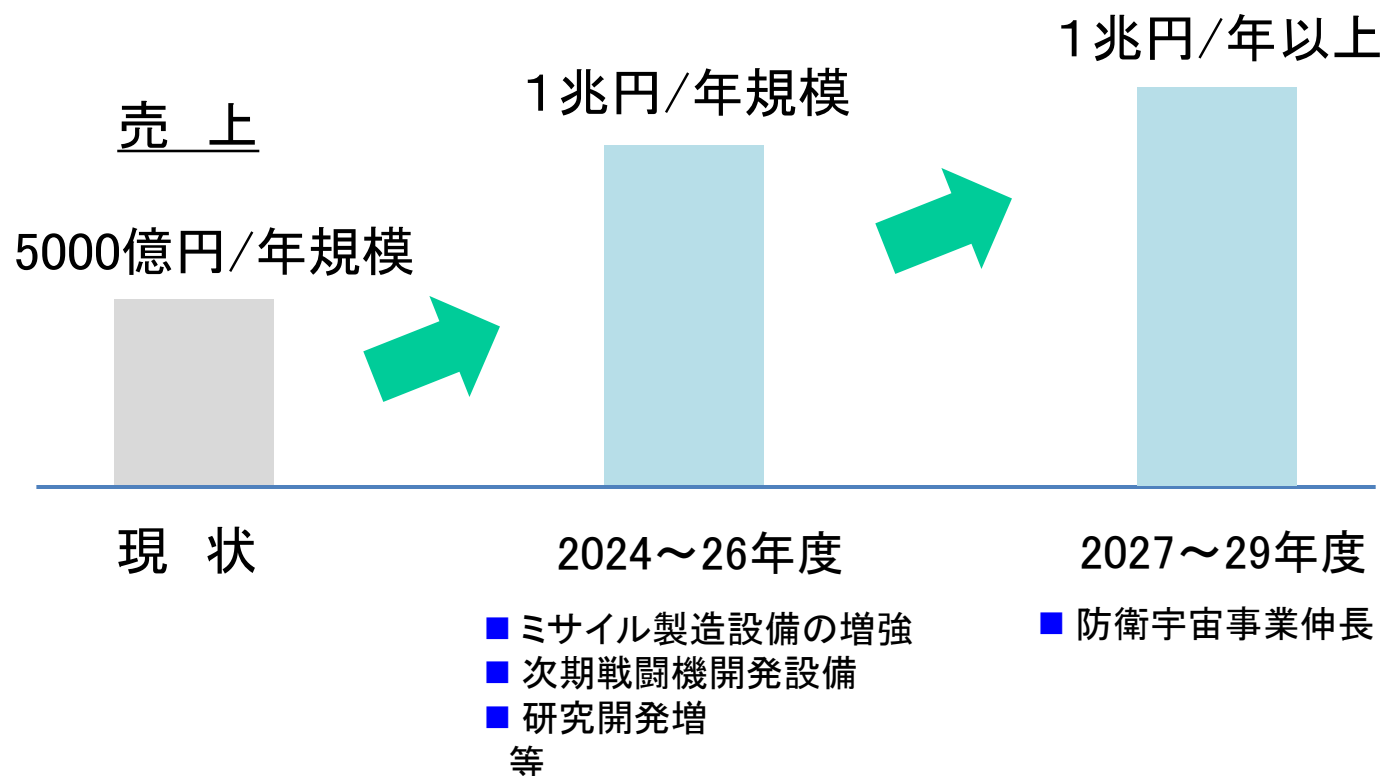
- |            |            |
|------------|------------|
| ● 利益率改善    | ● 産業保全強化   |
| ● 製造工程改善支援 | ● 機微技術管理強化 |
| ● 撤退企業対策   | ● 装備移転の促進  |
| ● 防衛産業活性化  | ● FMS合理化   |





## 5. 事業計画

- 過去長期にわたり、事業規模は5,000億円弱で推移。
- 防衛力整備計画の大幅な拡充を受け、事業規模は2倍以上になると想定。
- 事業拡大に必要な設備増強、研究開発に、積極的に投資していく



- 事業を通じ、「安全・安心な社会」の実現に貢献することが使命
- 防衛力整備計画の拡充によって、中長期の防衛産業は活況の見通し
- 売上増に対応するため、リソース拡充を着実に実施

